

はじめに

まんなかビジョンの策定にあたって

国土交通省は平成 13 年 1 月 6 日に従来の 4 省庁が統合され、国土の基盤整備に関する大きな省庁として発足しました。国土交通省の仕事は、基盤整備、観光、交通行政などで、国民の皆さまの意見を十分に聴取し、行政へ反映することが重要と認識しております。

近年の社会状況のなか、様々な施策を具体化していくために全体的、統合的に地域が見られるようなビジョンづくりが必要とされています。

このため、国土交通省では、平成 13 年 3 月 31 日に「国土交通中部地方懇談会」を発足させ、県、市といった行政境界にとらわれず、中部地方の地域全体の課題や地域づくりの進めかたなどが話し合われ、これを契機に、2 年余りの歳月を経て、このたび国民の皆さまに「まんなかビジョン」をご報告できることとなりました。

この「まんなかビジョン」は、中部地方の地域づくりに関して、今後 10 年間から 20 年間の目標と、その目標を実現するための主要なプロジェクトを掲げており、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、名古屋市の 4 県 1 市と地元経済界、国土交通省が初めて協働して作り上げました。

「まんなかビジョン」を策定するまでの 2 年余りの間、できるかぎり直接お話をお聞きする形で、中部地方の問題・課題の把握に努めて参りました。

平成 13 年度は、中部地方の主要な産業について、企業の方々にヒアリング調査をお願いし、企業活動を円滑に行ううえでの問題点などをご指摘いただくとともに、中部地方の各市町村長の皆さまにもヒアリング・アンケート調査にご協力いただき、地域づくりにどのような問題を抱えておられるのか等をお教えいただきました。

さらに平成 14 年度は、中部地方の 8 地域(岐阜市、高山市、静岡市、浜松市、名古屋市、豊橋市、四日市市、伊勢市)において「ビジョン討論会」を開催させていただき、直接国民の皆さまからビジョンに関するご意見やご要望を聞かせていただきました。

また、地元の学識経験者や企業経営者の方々にお願いし「有識者懇談会(通称:まんなか懇談会)」を 5 回にわたって開催させていただき、中部地方の今後のあるべき姿や地域づくりの重要な課題についてご意見を伺わせていただきました。

「まんなかビジョン」は、まさにこうした取り組みのなかから地域の声を反映し、「中部の目指すべき方向」として練り上げております。今後は、この「まんなかビジョン」を地域共通の目標、財産として、引き続き具体的な地域づくりに邁進していく所存です。国民の皆さまには、引き続きこのビジョンの実践を見守っていただくと同時に、地域づくりに関するご意見などをより多くいただきたいと思っております。引き続きご協力をお願い申し上げます。